

中部経済産業記者会、愛知県政記者クラブ、
瀬戸市記者会、豊田市政記者クラブ、
豊田市政記者東クラブ 同時

平成 28 年 8 月 23 日 (火)
あいち産業科学技術総合センター
共同研究支援部シンクロトン光活用推進室
担当 加藤、野本、中西、池口
ダイヤルイン 0561-76-8315
愛知県産業労働部産業科学技術課
管理・調整グループ
担当 青山、田口
内線 3388、3381
ダイヤルイン 052-954-6347
公益財団法人科学技術交流財団
あいちシンクロトン光センター ユーザー支援室
担当 渡辺、村木
電話 0561-76-8330

「あいちシンクロトン光センター成果公開無償利用事業」の 第3回利用課題募集の採択結果について

愛知県と公益財団法人科学技術交流財団は、あいちシンクロトン光センターの利用拡大を通じて、本県のモノづくり産業の高度化・高付加価値化を支援するため、「あいちシンクロトン光センター成果公開無償利用事業♦」を実施しております。

この度、第3回募集の利用課題について、審査委員会において、産業的・社会的重要性や事業化・実用化の可能性等の観点から審査を行った結果、応募のあった全3件の利用課題を採択しましたのでお知らせします。

◆「あいちシンクロトン光センター※¹成果公開無償利用事業」について

通常は秘匿される利用成果の公開を条件として、企業等にあいちシンクロトン光センターの先端計測装置（ビームライン※²）を、無償で利用いただく事業です。県及び科学技術交流財団がこれらの利用課題の成果を広く公開し、あいちシンクロトン光センターの利用拡大につなげることを目標としています。

1 第3回利用課題募集の採択結果

(1) 採択件数

3件（応募件数 3件）

(2) 採択企業等及び産業分野

(五十音順)

| 利用企業等 | 産業分野 |
|-------------------------------|----------|
| 東京農工大学 石原産業株式会社 | 環境産業 |
| 名古屋大学 株式会社エナジーフロント 創価大学 | 生命科学 |
| 早稲田大学 DOWAエコシステム株式会社 | 環境、リサイクル |

(3) 利用成果の公表

採択を受けた企業等が、あいちシンクロトロン光センターを利用して得られた成果については、平成29年3月中旬に開催予定の成果発表会において、企業や大学の皆様にあいちシンクロトロン光センターの活用事例として公開します。

併せて、科学技術交流財団のホームページに掲載します。

2 問合せ先

あいち産業科学技術総合センター

共同研究支援部 シンクロトロン光活用推進室（担当：加藤、野本、中西、池口）

〒470-0356 豊田市八草町秋合1267-1

電話：0561-76-8315（ダイヤルイン）

【用語説明】

| 用語 | 説明 |
|--------------------------------|---|
| ※1 あいちシンクロ トロン光センター | <p>(公財)科学技術交流財団が整備・運営する、ナノテク研究に不可欠な最先端の計測分析施設（平成 25 年 3 月オープン）。</p> <p>産業利用を主目的とし、隣接する「あいち産業科学技術総合センター」（運営主体：愛知県）が備える高度計測分析機器との相互利用によって、地域企業の技術的な課題解決を強力に支援する。</p> <p>なお、シンクロトロン光とは、ほぼ光速で直進する電子が電磁石によって進行方向を変えられた際に発生する電磁波。非常に明るく（通常の計測装置の千倍から百万倍）、1 台の装置でマイクロ波、赤外、可視、紫外から X 線まで連続した波長の光を出すことができ、この光を利用して様々な計測・分析を行う。</p> |
| ※2 ビームライン | <p>シンクロトロン光を用いて計測分析を行う測定装置。あいちシンクロトロン光センターでは、測定手法別に合計 8 本（うち 1 本は名古屋大学が設置）を供用している。測定するもの（試料）に合わせたビームラインを利用することにより、多種多様な分析を、汎用機器と比較して短時間かつ高精度に行える。</p> |